

学校HPはコチラ

令和５年度



校長室だより　№1

令和5年４月２４日発行

**二 星**

唐桑中学校

**目指せ自分の１００点満点**

例えば、テストでAさん、Bさん、Cさんが、３人とも８０点を取ったとします。そのとき、人によって感想がまったく異なることに気付きます。

　　Aさん「あぁ、全然ダメだった。次はしっかり勉強しないと。」

　　Bさん「勉強した甲斐（かい）があったなぁ。次も頑張るぞ。」

　　Cさん「うわぁ、すごい点数だ。これはお兄ちゃんに自慢できるぞ。」

このとき、満足度をもとに、次のテストに向けて一人一人に合った目標点を設定してみると、

Aさんにとっては「次は挽回（ばんかい）するぞ、とるぞ１００点！」となり、

Bさんにとっては「次も同じように頑張るぞ、続けよう８０点！」となり、

Cさんにとっては「さぁ、次もしっかり取るぞ６０点！」となります。

　つまり、Aさんにとっての「満点」は「１００点」、Bさんにとっての「満点」は「８０点」、Cさんにとっての「満点」は「６０点」と考えることができます。

　私は、この設定がすごく大切だと考えています。この「自分自身の１００点満点を目指すこと」は運動にも言えるし、音楽や美術も同じ。それぞれが自分自身の精一杯を目指して取り組んでいく姿勢が大事。

このとき、絶対に「人と比べてはダメ」です。誰かと比べたことで持てた自信や劣等感は、人生では何の役にも立ちません。唐中で１番でも、中学校を卒業すれば上には上がいる。また、１番だからといって満足したのでは、その後の成長もありません。

「意識する相手は常に自分自身」です。

第 １ 問　校章に描いてある３枚の葉っぱは、「桑」の葉っぱである。

第 ２ 問　校章の中の円は、海の航海の安全のための「灯台の光」を指している。

第 ３ 問　唐桑中学校ができた当時は｢唐桑村｣だった。

第 ４ 問　唐桑中が一番多かったときは１学年６学級、つまり学校全体で１８学級があった。

第 ５ 問　６学級まであった唐桑中学校ですが、最大、全校生徒は７００人以上いた。

第 ６ 問　唐桑中学校の校木は「桑」である。

第 ７ 問　唐桑中学校を卒業した先輩方の人数を合計すると、１００００人を超える。

第 ８ 問　唐桑中学校の校訓は６つ。「創造、健康、協和、正義、礼節」で５つ。あと１つは、校歌にも出てくる言葉であるが、それは「理想」である。

第 ９ 問　６つある校訓のうち、旧唐桑中から引き継ぐものは、真理、正義、協和の三つである。

第１０問　校歌の歌詞にある植物は２種類である。

第１１問　校歌の歌詞に「松はさやけし」という言葉がある。この「さやけし」の意味は「静かである」という意味である。

第１２問　校歌の「あやなす電波」にある「あやなす」とは、「上手に操作する」という意味である。

第１３問　今日が７８回の誕生日の唐桑中学校。私は２９代目の校長である。



＜スマホ，タブレット端末・ゲーム等，通信機器の使用についてのお願い＞

　新生活が始まった中，お子様のゲーム，スマホ，タブレット端末等（以下スマホ等）の使用状況はいかがでしょうか。スマホやゲーム等の長時間の使用による生活リズムの乱れを特に心配しています。

皆様からも，スマホ・ゲーム等の使用により，夜更かしによる生活リズムの乱れの心配や，朝決まった時間に起きられずに困っている，とのご相談をいただいております。

このGW中の最も大切なことの一つに，「生活リズムを整えておくこと」が挙げられます。

学校再開時にスムーズに生活に順応するためにも，生活リズムを整えておくことは必要なことです。学習も部活動も，生活リズムが整っていなければ，効率が上がりません。

そこで，GW中に，お子様とスマホ等の使用について話し合う時間をもっていただきたいと思います。

★「１日の使用時間帯と時間を決め，同じ時間に起床し，同じ時間に就寝する」

★「就寝前はスマホやゲームを保護者にあずける」

★「アプリなどでスマホやゲームの使用時間に制限をかける」

等のルールを決めていただき，学校生活と同じリズムで学習するようにお声がけください。これまで私の耳に届いた，ネットトラブルに生徒が巻き込まれた事件・事例では，すべての家庭でこのルールを守れていません。

保護者の皆様には，管理についてのご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

本校には週に１回，スクールカウンセラーが来校しています。

【スクールカウンセラーが導入された背景を紹介します】（参考元・宮城県義務教育課 資料）

情報を瞬時に交流できる社会の中にあって，児童虐待，貧困，不登校，いじめや暴力行為等の問題等，子供達が抱える不安や苦しみがどんどん表面化しています。また，地域社会として，災害及び突発的な事故等に見舞われた子供に手を差し伸べなければならない義務もあります。

生徒が抱える課題の解決に向け，学校の教育相談体制の充実が求められていますが，多岐にわたり，しかも複雑化している課題への対応は，学校の教員だけでは困難です。そこで，個から集団・組織まで視野に入れた心理的な支援を行える，高度な専門性を持つスクールカウンセラーが，今の社会には必要なのです。

来校日は毎週木曜日。まずは学校にお電話を

（職員室と離れた相談室で，ＳＣが折り返しお電話を差し上げます）

皆様に知っていただきたい番号があります

◎２４時間子供ＳＯＳダイヤル

０１２０－０－７８３１０

◎児童虐待かと思ったら

１８９

◎子どもの人権１１０番

０１２０－００７－１１０